福知山市/中丹西保健所

1　地域の現状分析

1.1　背景

➢　統計

指標	福知山市・中丹西保健所	京都府
総人口（R5 住民基本台帳人口）	76,075 人	2,501,269 人
日本人人口（R5 住民基本台帳人口）	74,929 人	2,433,882 人
出生率（R5 人口動態調査）	6.4‰	5.7‰
合計特殊出生率（H30～R4 ベイズ推計値）	1.84	1.25
高齢化率（R5 65 歳以上の者の割合）	30.1%	29.4%
前期高齢者割合（65～74 歳の者の割合）	13.6%	13.1%
後期高齢者割合（75 歳以上の者の割合）	16.5%	16.3%
死亡率（R5 人口動態調査）	13.6‰	12.6‰
平均寿命（0 歳平均余命）[95%CI]	男性：81.2 年［79.7,82.7］ 女性：87.2 年［86.2,88.2］	男性：81.6 年［81.4,81.9］ 女性：87.9 年［87.7,88.1］
健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）[95%CI]	―	男性：72.1 年［71.3,73.0］ 女性：75.8 年［74.9,76.7］
平均自立期間（要介護度 1 以下の期間の平均）[95%CI]	男性：79.6 年［78.2,81.0］ 女性：84.0 年［83.1,84.9］	男性：79.8 年［79.6,80.0］ 女性：84.0 年［83.8,84.2］
医療保険加入者数（R5 市町村国保＋けんぽ）	32,024 人	1,113,368 人
特定健診対象者数（40～74 歳の加入者数）	22,071 人	728,586 人
特定健診実施率　R5 市町村国保＋けんぽ	45.0%	42.2%
がん検診受診率（R5 市区町村実施分）　肺がん	2.2%	3.1%
大腸がん	3.9%	4.0%
胃がん	2.2%	2.7%
子宮頸がん	12.5%	11.6%
乳がん	15.0%	12.0%

[出典]人口・高齢化率：令和 5 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、年間出生数・死亡者数：令和 5 年人口動態調査、合計特殊出生率：人口動態統計特殊報告（平成 30～令和 4 年人口動態保健所・市区町村別統計）、平均寿命・平均自立期間：国保データベース（KDB）システムによる算出値（令和 5 年値）、健康寿命：次期健康づくり運動プラン作成と推進に向けた研究（令和 4～6 年度）都道府県別健康寿命（2010～2022 年）（令和 6 年度分担研究報告書の付表）、医療保険加入者・対象者数・特定健診実施率：京都府健診・医療・介護総合データベース（令和 5 年度値）、がん検診受診率：令和 5 年度地域保健・健康増進事業報告

※　協会けんぽの医療保険加入者数は、協会けんぽ京都支部加入者の内、郵便番号から居住市町村名が判明している者のみ集計した。また、資格取得・喪失状況を加味した上で月ごとの加入者数を 1 年分足し合わせた後に 12 で除した値（月平均）を利用した

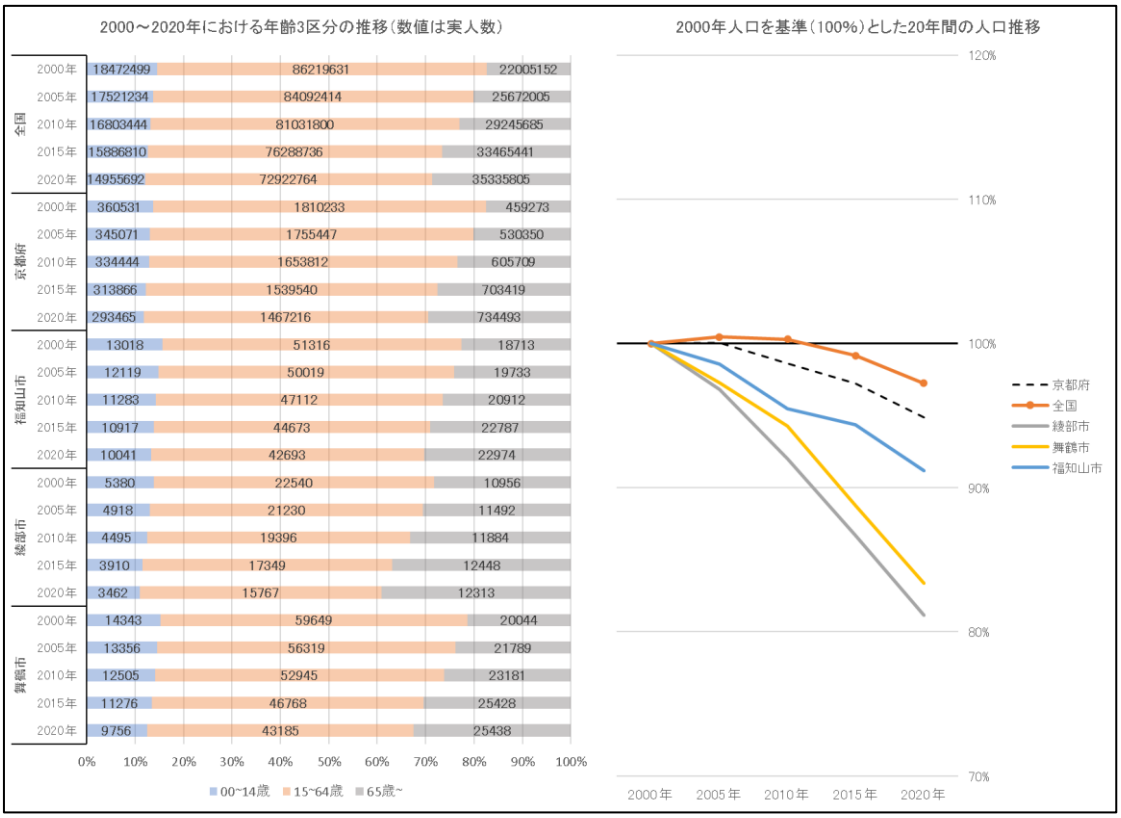
※　特定健診実施率とは、特定健診対象者のうち、平成 30 年「特定健康診査・特定保健指導の実施状況の集計方法等について」別添 1 にある検査・測定項目を実施した受診者の割合のことである

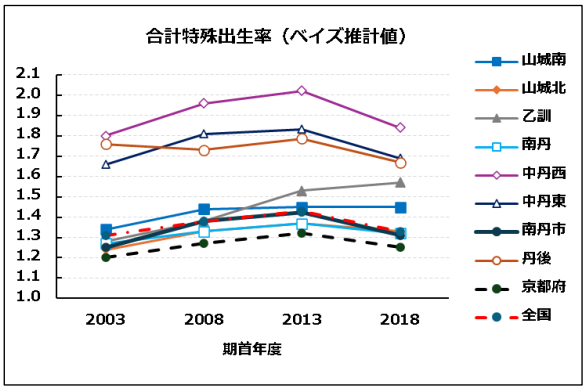
※　京都府の肺・胃・乳がん検診受診率は、それぞれ京都市の当該年度受診者数等を補完のうえ再計算したため国の公開値とは異なる

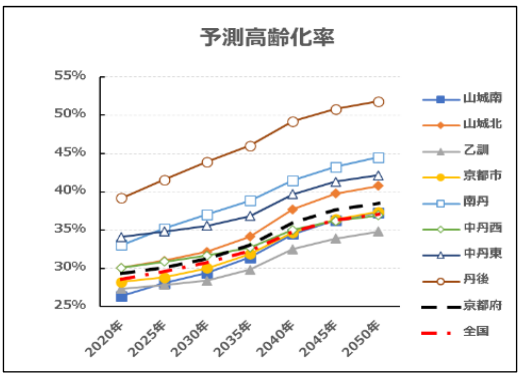
➢ 経年推移

福知山市は、京都府、全国と比較すると人口減少率は高いが、近隣の市町村（南丹地域以北）と比較すると最も緩やかに減少している（グラフは中丹圏域を表示）。

合計特殊出生率 1.84 と京都府内では最も高い。令和 5 年度の高齢化率については近隣の市町村（南丹地域以北）では、最も低い 30.9 %。また、5 年区分の予測高齢化率では、2030 年以降は、京都府全体、全国と比較しても緩やかに上昇している（グラフは圏域別に表示）。







合計 / 高齢化率	全国	京都府	福知山市	綾部市	舞鶴市
2020年	28.6%	29.3%	30.1%	38.8%	32.2%
2025年	29.6%	30.1%	30.9%	39.4%	33.0%
2030年	30.8%	31.3%	31.6%	39.6%	34.0%
2035年	32.3%	33.0%	32.7%	40.7%	35.3%
2040年	34.8%	35.9%	35.0%	43.5%	38.2%
2045年	36.3%	37.6%	36.2%	44.8%	40.0%
2050年	37.1%	38.5%	36.9%	45.5%	40.9%

出典：人口推移：平成 12 年～令和 2 年国勢調査、
合計特殊出生率：人口動態統計特殊報告　人口動態保健所・市区町村別統計
予測高齢化率：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）」

➢ 市の特徴

福知山市は古くから城下町として栄え、明治以降は北近畿の交通の中心となり、商都として発展してきた。由良川流域の福知山盆地にひらけており、昭和 12 年 4 月に京都府で 2 番目の市として誕生した。平成 18 年 1 月 1 日に、福知山市・三和町・夜久野町・大江町の 1 市 3 町が合併し、新しい「福知山市」がスタートした。

京都市からは 60㎞、大阪市からは 70㎞ の距離にあり、国道 9 号をはじめとする多くの国道や舞鶴若狭自動車道、JR 山陰本線・福知山線および京都丹後鉄道宮福線などが通る北近畿の交通の要衝となっている。

平成 19 年に地域医療の拠点である市立福知山市民病院が完成し、福知山駅の全線高架開業（平成 21 年）による福知山駅周辺整備事業といった都市基盤の充実を図るとともに、「まちづくり構想　福知山」においては、「市民一人ひとりがその人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち」「最後まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち」を基本政策の柱として掲げ、恵まれた自然環境を生かしながら北近畿の中核都市としてのまちづくりが進められている。

産業多様性指数、合計特殊出生率が京都府下で高く、若年層の人口転入率も高い。

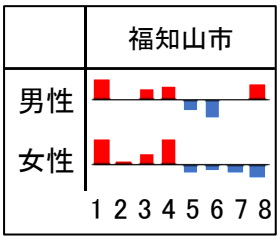
地勢としては、由良川が貫流する福知山盆地の中心を占め、その支流である牧川、土師川及び和久川が市内で合流している。福知山盆地は、非常に低く由良川と牧川の合流点付近では、標高 12m にすぎない。したがって、由良川等の堤防が決壊した場合には、本市全域にわたる広い範囲で外水による浸水被害が生じる危険性がある。実際に平成 16 年台風 23 号、平成 25 年台風 18 号、平成 26 年、平成 30 年の豪雨、令和 5 年の台風 7 号で大きな被害が発生している。

出典：福知山市概要、地域子育て環境「見える化ツール」（2021 年 10 月）

1.2　生活習慣

➢　特定健診質問票項目の標準化該当比

福知山市は京都府全体と比較して、「現在喫煙」、「運動なし」、「歩行なし」の項目で男女ともに京都府全体と比較して、年齢構成を考慮しても高い。男性は、「毎日飲酒」の項目において京都府全体と比較して高い。



	現在喫煙	体重増加	運動なし	歩行なし	就寝前食事	毎日間食	朝食欠食	毎日飲酒
男	1.13	1.00	1.07	1.09	0.93	0.88	0.99	1.10
女	1.14	1.02	1.06	1.14	0.94	0.96	0.94	0.92

１＝現在喫煙、２＝体重増加、３＝運動なし、４＝歩行なし、５＝就寝前食事、６＝毎日間食、７＝朝欠食、８＝毎日飲酒

出典：京都府健診・医療・介護総合データベース（令和５年）

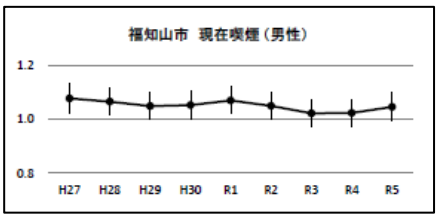
※スパークラインの各基線は当該年度の京都府全体を表しており基線を上回れば（=赤棒）期待値を上回る該当がある（=当該項目が府と比べて比較的高リスクである）ことを表す

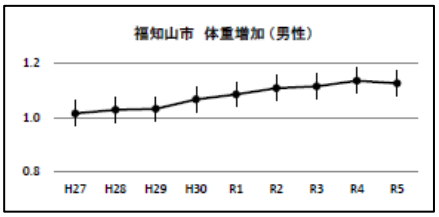
➢　特定健診質問票項目の標準化該当比の経年変化（平成 27 年～令和５年）

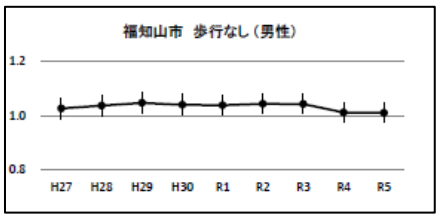
平成 27 年度の京都府を基準集団として計算した標準化該当比を用いた市町村別特定健診結果では、「現在喫煙」において、男性は平成 27 年から府の平均値よりも高い状況が続いており、女性は平成 28 年以降、現在喫煙が増加傾向にある。

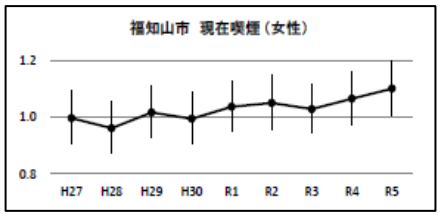
「体重増加」、「朝食欠食」は、男性・女性ともに平成 27 年から増加傾向にある。

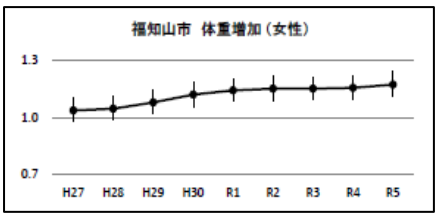
「運動なし」、「歩行なし」は、男性・女性ともに、平成 27 年から府の平均値よりも高い状態が続いている。「毎日飲酒」は、男性は、平成 27 年から減少し、府平均よりも低いが、女性は平成 27 年から増加傾向にあり、令和 5 年に府平均よりも高くなった。

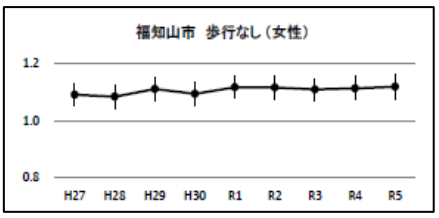


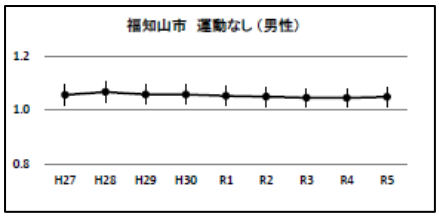


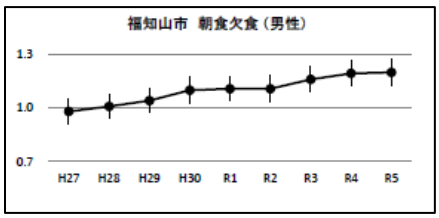


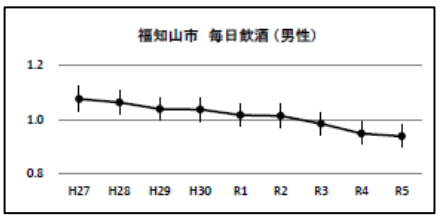


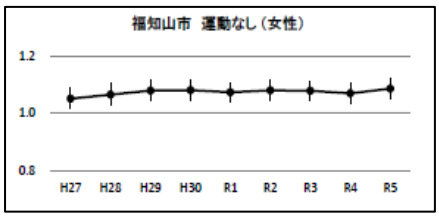


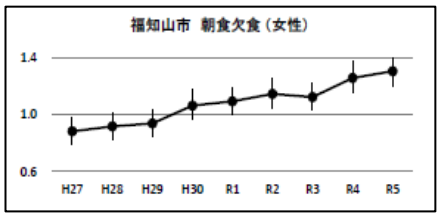


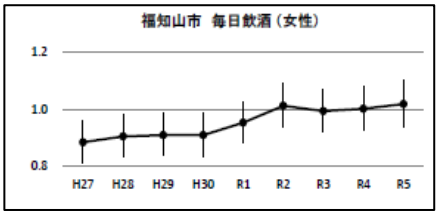












出典：京都府健診・医療・介護総合データベース（令和５年）
各年度の標準化該当比は、平成 27 年度の京都府を基準集団として計算した絶対変化

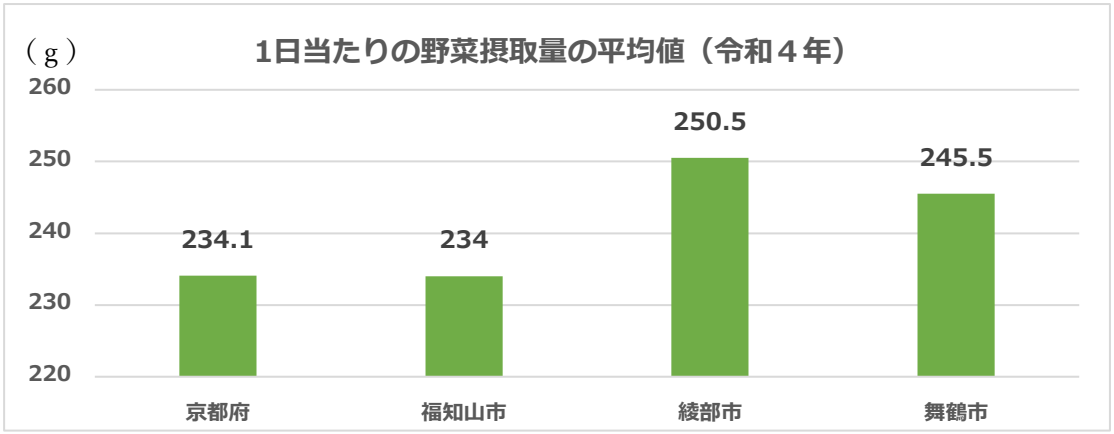
➢ その他調査結果

福知山市の野菜摂取量平均値は、1 日の目標 350g よりも少ない。また、中丹地域の他市と比較しても福知山市は野菜摂取量が少ない。

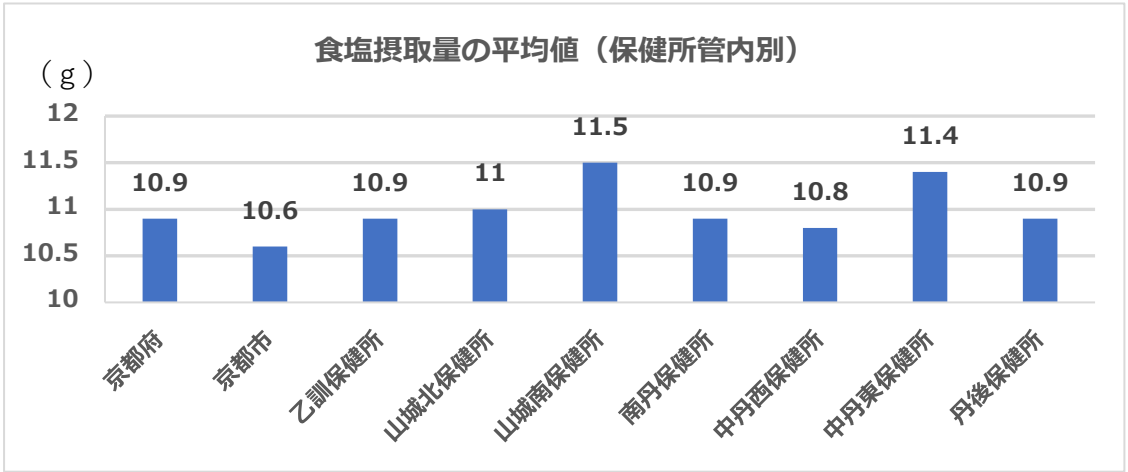
中丹西保健所管内の食塩摂取量の平均値は 10.8ｇと塩分の目標値（男性 7.5g 未満、女性 6.5ｇ未満）よりも多い。

「塩分のとりすぎに気をつけていますか」の問に対して、福知山市では、「いつも気を付けている者」は 33%と京都府全体、中丹圏の他市と同程度であった。

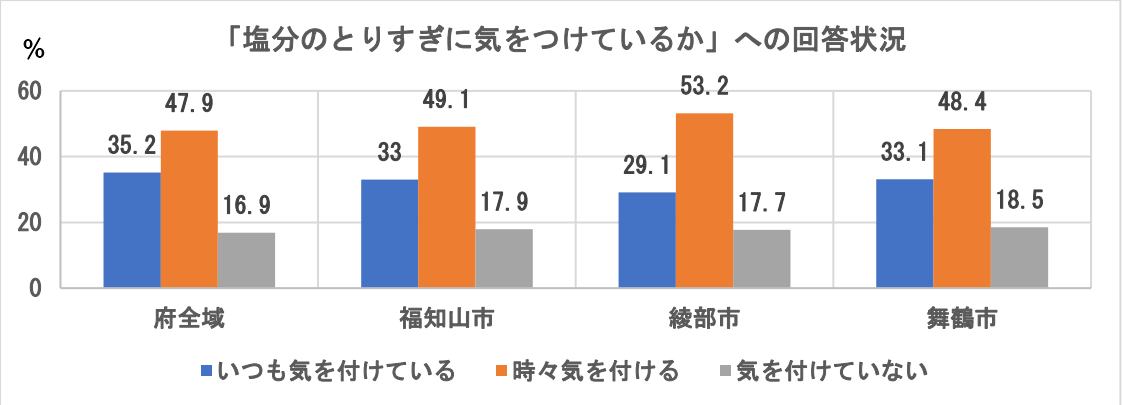
・野菜摂取量の平均値



・食塩摂取量の平均値



・塩分のとりすぎへの意識について



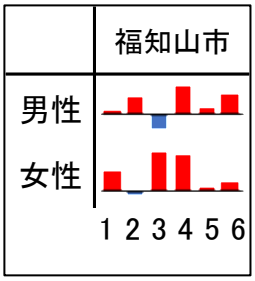
出典：令和４年京都府民健康・栄養調査

1.3　健診有所見

➢　リスク該当の割合

・特定検診結果の標準化該当比

生活習慣病のリスク該当比では、福知山市は男性・女性ともに、「肥満」、「血圧」、「脂質」、「血糖」のリスクがある者が京都府全体と比較して、年齢構成を考慮しても高い。男性はメタボ、女性はメタボ予備軍の項目においてもリスクが高い。



	肥満	メタボ	メタボ予備群	血圧	脂質	血糖
男	1.01	1.05	0.96	1.08	1.02	1.06
女	1.07	0.99	1.13	1.12	1.02	1.03

１＝肥満、２＝メタボ、３＝メタボ予備群、４＝血圧リスク、５＝脂質リスク、６＝血糖リスク

出典：京都府健診・医療・介護総合データベース（令和５年）

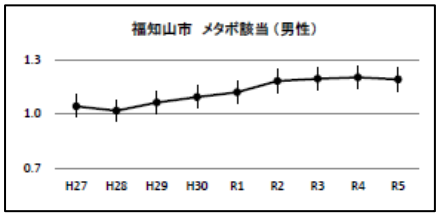
※スパークラインの各基線は当該年度の京都府全体を表しており基線を上回れば（=赤棒）期待値を上回る該当がある（=当該項目が府と比べて比較的高リスクである）ことを表す

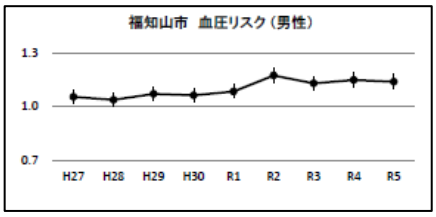
※各項目について、該当者の定義は次のとおりです。

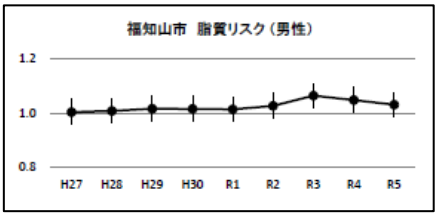
①肥満：「腹囲（男/女）≧85/90cm」又は「BMI≧25kg/m²」、②メタボ：「腹囲（男/女）≧85/90cm」かつ「④～⑥のうち２つ以上に該当」、③メタボ予備群：「腹囲（男/女）≧85/90cm」かつ「④～⑥のうち１つに該当」、④血圧：「収縮期血圧≧130mmHg」又は「拡張期血圧≧85mmHg」又は「降圧薬を投与されている」、⑤脂質：「中性脂肪≧150mg/dL」又は「HDL コレステロール＜40mg/dL」又は「脂質異常症治療薬を投与されている」、⑥血糖：「HbA1c≧6.0%」又は「空腹時血糖≧110mg/dL」又は「血糖降下薬（インスリン含む）を投与されている」

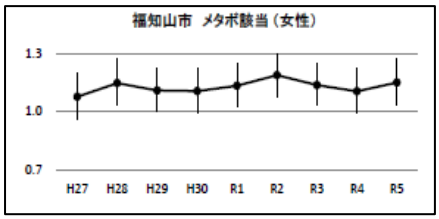
➢　リスク該当の割合の経年変化（平成 27 年～令和５年）

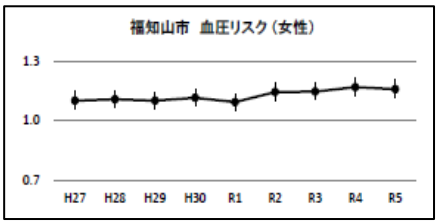
「メタボ該当」について、男性では平成 28 年から府平均を超え年々増加傾向にあり、女性では府平均よりも高い状態が続いている。「血圧」、「血糖」は、男性・女性ともに府平均よりも高い状態が続いている。「脂質」は、男性、女性とも府平均よりも、やや高い。

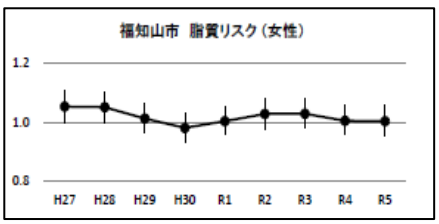


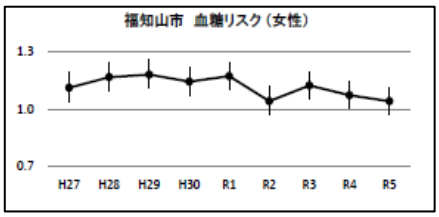


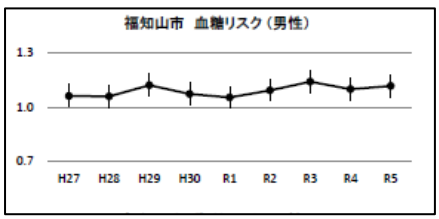












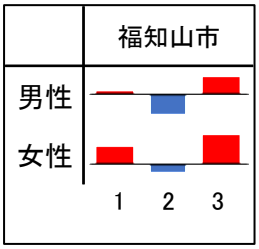
出典：京都府健診・医療・介護総合データベース（令和 5 年）

各年度の標準化該当比は、平成 27 年度の京都府を基準集団として計算した絶対変化

生活習慣病（がん除く）

➢ 服薬の有無

服薬の標準化該当比は、男性・女性ともに「降圧薬」・「血糖降下薬」の項目が高い。



	降圧薬	DL治療薬	血糖降下薬
男	1.01	0.91	1.07
女	1.10	0.96	1.16

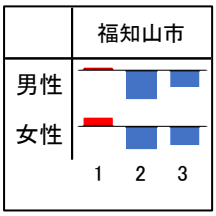
１＝降圧薬使用、２＝脂質異常症治療薬使用、３＝糖尿病治療薬（インスリン含む）使用

出典：京都府健診・医療・介護総合データベース（令和５年度）

※スパークラインの各基線は当該年度の京都府全体を表しており基線を上回れば（=赤棒）期待値を上回る該当がある（=当該項目が府と比べて比較的高リスクである）ことを表す

➢ 受療状況

受療状況は、男性・女性ともに京都府全体と比較して、「高血圧」の項目が高く、「脂質異常症」、「糖尿病」の受療者数比が低い。



	高血圧	脂質異常症	糖尿病
男性	1.01	0.91	0.95
女性	1.04	0.92	0.94

１＝高血圧、２＝脂質異常症、３＝糖尿病

出典：京都府健診・医療・介護総合データベース（令和５年度）

※スパークラインの各基線は当該年度の京都府全体を表しており基線を上回れば（=赤棒）期待値を上回る該当がある（=当該項目が府と比べて比較的高リスクである）ことを表す。

※府基準の該当比の算出においては、各保険者（市町村国保＋後期高齢）のレセプトデータから各疾患の受療者を集計し、これと加入者数を用いて各市町村の受療者数の期待値を計算した。また、全国基準の算出においては、府の受療率と各市町村の年齢階級人口から患者数を計算し、これに府基準の該当比を掛け合わせることで市町村の受療者数とした。

※府基準該当比の計算においては各圏域（京都・乙訓、山城北、山城南、南丹、中丹、丹後）を母集団とし、全国基準の計算においては京都府を母集団としてベイズ推定を行った

➢ その他

糖尿病に関する知識の有無

京都府民健康・栄養調査（令和 4 年）では、福知山市の回答者のうち約 50%の方が、糖尿病が高血圧、腎障害、歯周病との関係について「わからない」と回答している。高血圧、歯周病との関係を認識しているのは約 36%であった。糖尿病と失明の関係について、「正しい」と約 85%の者が回答している。

糖尿病になっても自覚症状がない事が多い

	正しい	間違っている	わからない
回答者数	73	8	27
割合（%）	67.6	7.4	25

糖尿病の人には血圧の高い人は多い

	正しい	間違っている	わからない
回答者数	41	19	49
割合（%）	37.6	17.4	45

糖尿病は腎障害の原因となる

	正しい	間違っている	わからない
回答者数	56	3	49
割合（%）	51.9	2.8	45.4

糖尿病は失明の原因となる

	正しい	間違っている	わからない
回答者数	92	3	13
割合（%）	85.2	2.8	12

糖尿病と歯周病と関係がある

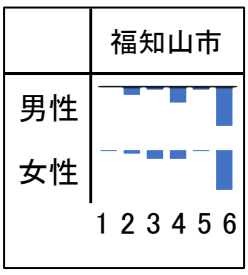
	正しい	間違っている	わからない
回答者数	39	8	61
割合（%）	36.1	7.4	56.5

出典：令和 4 年京都府民健康・栄養調査

1.4　重症化・がん

➢ 受療状況（重症化・がん）の標準化受療者数比

福知山市は、男性・女性ともに、「結腸・直腸がん」、「虚血性心疾患」、「脳血管疾患（脳梗塞）」の項目が京都府全体と比較して、年齢構成を考慮しても受療者数比が低い。女性においては「胃がん」、「脳梗塞」の受診者数比も低い。



	胃がん	結腸・直腸がん	肺がん	虚血性心疾患	脳梗塞	脳血管疾患（脳梗塞以外）
男性	1.02	0.94	1.00	0.89	1.00	0.70
女性	0.94	0.91	0.87	0.87	0.95	0.62

１＝胃がん、２＝大腸がん、３＝肺がん、４＝虚血性心疾患、５＝脳梗塞、６＝脳血管疾患（脳梗塞以外）

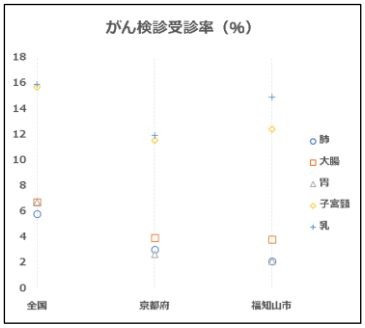
出典：京都府健診・医療・介護総合データベース（令和 5 年度）

※スパークラインの各基線は当該年度の京都府全体を表しており基線を上回れば（=赤棒）期待値を上回る該当がある（=当該項目が府と比べて比較的高リスクである）ことを表す。
※府基準の該当比の算出においては、各保険者（市町村国保＋後期高齢）のレセプトデータから各疾患の受療者を集計し、これと加入者数を用いて各市町村の受療者数の期待値を計算した。また、全国基準の算出においては、府の受療率と各市町村の年齢階級人口から患者数を計算し、これに府基準の該当比を掛け合わせることで市町村の受療者数とした。
※府基準該当比の計算においては各圏域（京都・乙訓、山城北、山城南、南丹、中丹、丹後）を母集団とし、全国基準の計算においては京都府を母集団としてベイズ推定を行った。

➢ がん検診の受診率

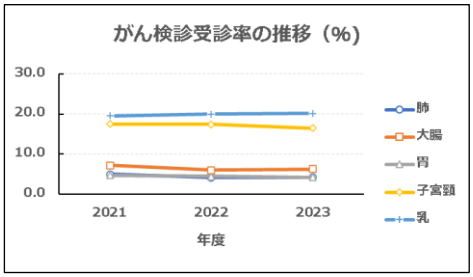
福知山市のがん検診の受診率は、「肺がん」、「大腸がん」、「胃がん」、「子宮頸がん」、「乳がん」５項目全ての項目で全国よりも低い。京都府基準と比較すると「子宮頸がん」、「乳がん」の受診率が高い。

「胃がん（血液）」、「大腸がん」、「前立腺がん」の精検受診率は 90%に満たないが、「胃がん（X 線・内視鏡）」、「肺がん」、「子宮がん」、「乳がん」の精検受診率は 90%以上である。



	肺	大腸	胃	子宮頸	乳
全国	5.9	6.8	6.8	15.8	16
京都府	3.1	4.0	2.7	11.6	12.0
福知山市	2.2	3.9	2.2	12.5	15

出典：令和５年度地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）市区町村表（20-1~4）



出典：地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）市区町村表（20-1～4）（令和 3～5 年度）

がん検診実施状況

R5年がん検診用精密検査者数、要精密検査率とその内容

胃がん	受診者数		要精検者数	要精検率	精検受診者数	左記の内容										精検受診率
						早期がん	進行がん	胃ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃炎	その他の胃腫瘍	その他	異常なし	結果未把握	
合計	X線検査	113	3	2.7%	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	100.0%
合計	内視鏡検査	253	18	7.1%	18	0	0	0	0	0	0	0	2	16	0	100.0%
合計	血液検査	187	30	16.0%	25	0	0	2	0	0	17	1	0	5	0	83.3%

肺がん	受診者数	要精検者数（E判定のみ）	要精検率	精検受診者数	左記の内容								精検受診率
					肺がん	肺がんの疑い	肺結核	肺線維症	じん肺	その他	異常なし	結果未把握	
合計	1,380	36	2.6%	33	1	4	0	0	0	18	6	4	91.7%

大腸がん	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	左記の内容														精検受診率
					早期がん	進行がん	進行期不明	大腸がん疑い	腺腫性ポリープ(長径10mm以上)	腺腫性ポリープ(長径10mm未満)	非腺腫性ポリープ	大腸憩室	潰瘍性大腸炎	クローン氏病	その他	異常なし	結果未把握	
合計	2,825	175	6.2%	156	6	7	0	1	24	45	7	10	0	0	18	30	8	89.1%

子宮がん	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	左記の内容								精検受診率
					上皮内	頸がん浸潤	進行期不明	体がん	異形成	その他	異常なし	未把握	
合計	1,509	50	3.3%	45	0	1	0	0	12	11	19	2	90.0%

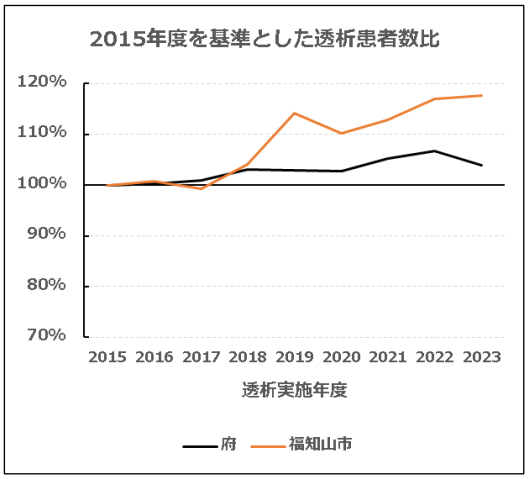
乳がん	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	左記の内容									精検受診率
					早期がん	進行がん	進行期不明	腺維線種	のう胞症	乳腺症	未確定	その他	異常なし	
合計	1,347	48	3.6%	47	0	0	1	3	6	7	1	7	22	97.9%

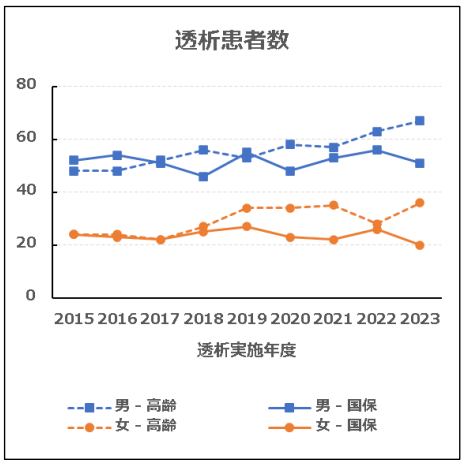
前立腺がん	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	左記の内容								精検受診率
					早期がん	進行がん	進行期不明	前立腺がんの疑い	前立腺肥大	その他	未把握	異常なし	
合計	1,396	55	3.9%	46	4	1	0	4	16	4	12	5	83.6%

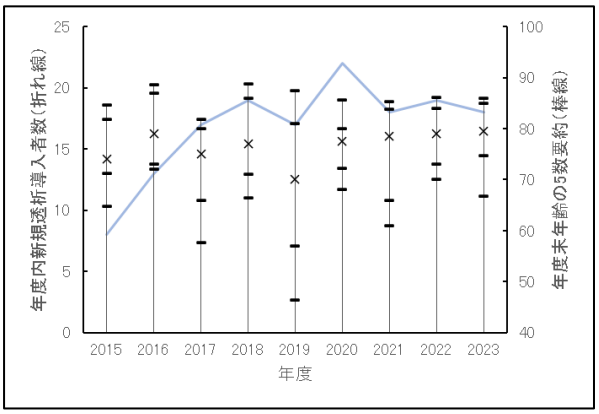
➢ 透析実施状況

福知山市の透析患者数比は、2015 年を基準として増加傾向にあり、京都府全体と比較しても増加割合が高い。男性は、女性の 2 倍透析患者が多く、後期高齢者で患者数が増加している。

新規透析導入者は、2017 年から毎年 20 人前後で推移している。







年度	人数	年度末年齢（5数要約）				
行ラベル	N	10%	25%	Med	75%	90%
2015	8	64.8	71.3	74	81.8	85
2016	13	72	73	79	87	89
2017	17	57.6	66	75	80	82
2018	19	66.4	71	77	86	89
2019	17	46.4	57	70	81	87
2020	22	68.1	72.3	78	80	86
2021	18	61	66	79	83.8	85
2022	19	70	73	79	84	86
2023	18	66.7	74.8	80	85	86

出典：京都府健診・医療・介護総合データベース（平成 27 年度～令和 5 年度）

※令和 7 年度に協会けんぽデータがデータベースから削除されました。そのため、今回から「国保」と「後期高齢」でカウントするようにしています。

※透析患者数とは、各年度内に一度でも「人工腎臓」（血液透析・濾過・濾過透析）または「腹膜灌流」（腹膜透析）の実施があった者の数を表します。

※新規透析導入者とは、「各年度内に一度でも腹膜灌流又は人工腎臓の導入期加算が発生している者」と定義

1.5　介護・死亡

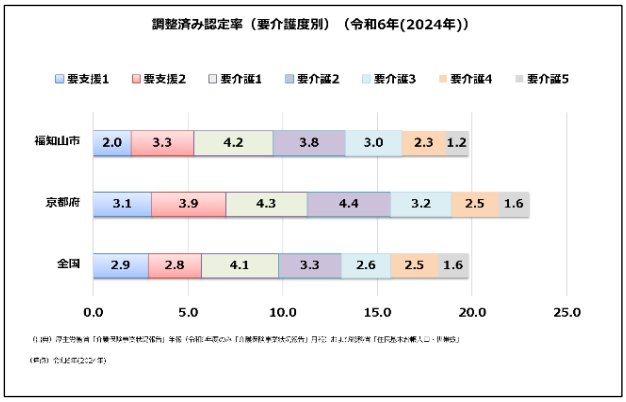
➢ 介護

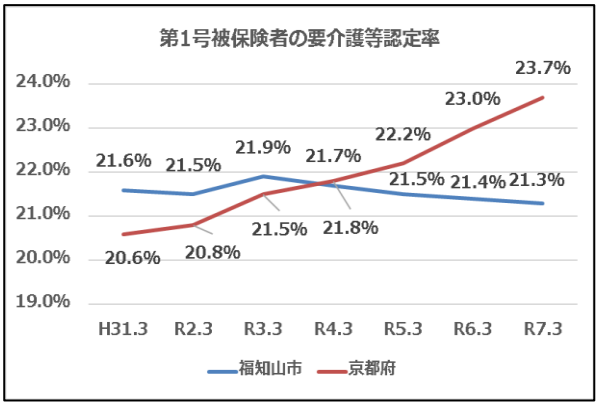
福知山市の調整済み認定率は 19.9%と全国と同程度。京都府全体と比較すると低い。介護度別でみると、「要支援 1」は全国、京都府全体よりも少なく、「要支援 2」から「要介護 3」の割合は全国よりも高い。介護サービスの利用率は 81.6%と京都府、全国と比較し高い。

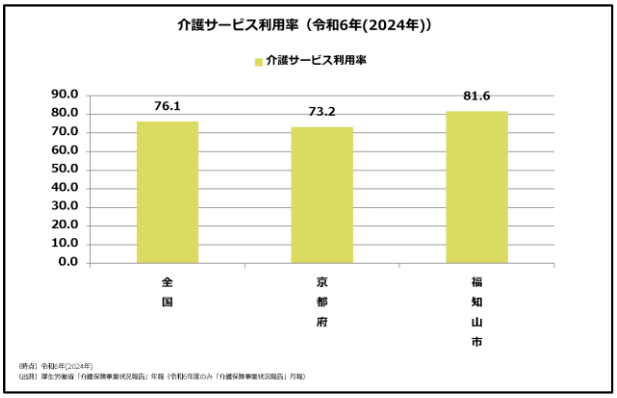
第 1 号被保険者の要介護等認定率では、京都府は増加傾向にあるが福知山市は横ばいに推移している。

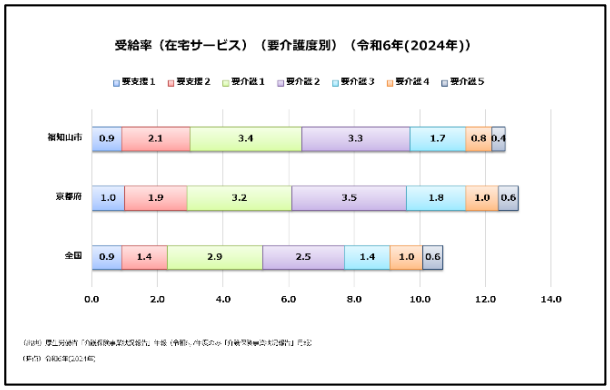
サービス系別にみると在宅サービス、施設サービス、居宅サービスの順に受給率が高い。施設サ

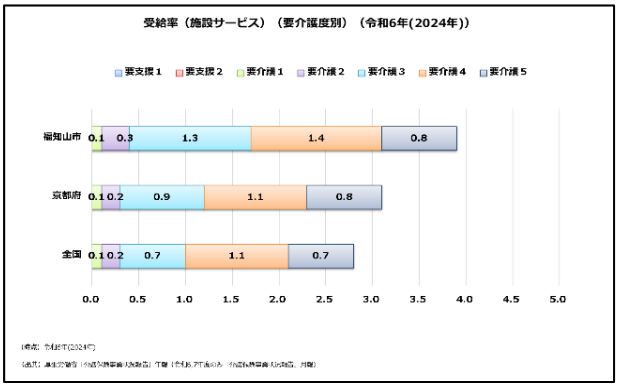
ービスの受給率は京都府、全国と比較して高い。居住系サービスの受給率は、全国・京都府と比較して低い。

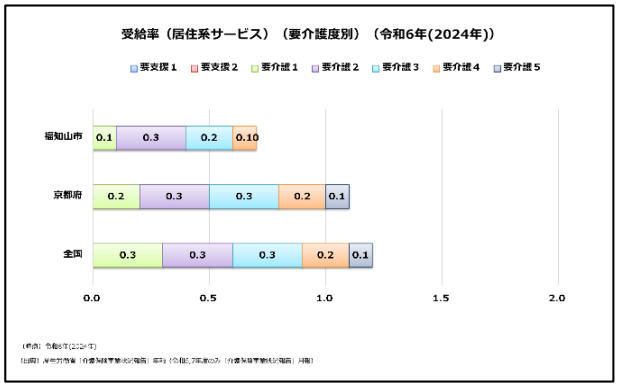










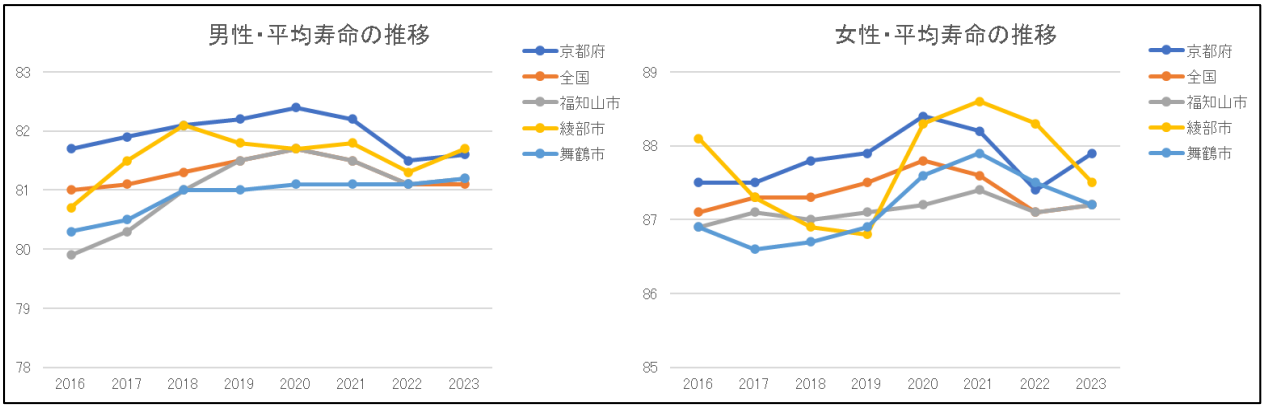


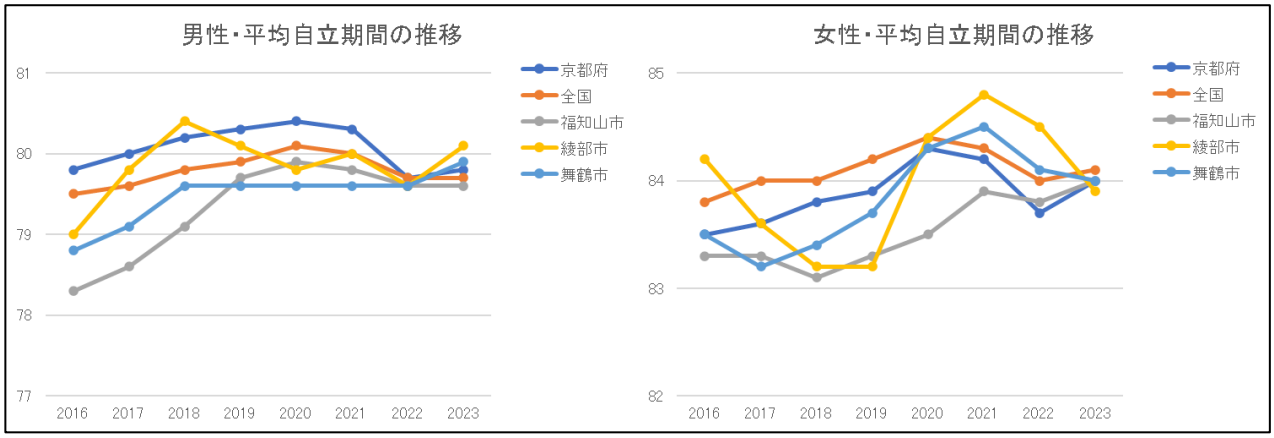
出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和６年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

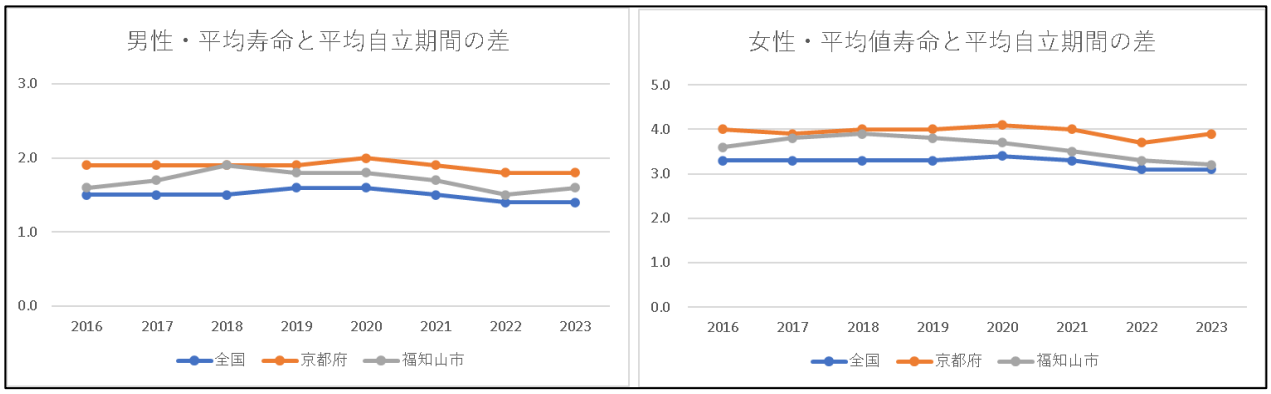
京都府　介護保険制度の実施状況　（令和元年～令和６年）

➢　平均寿命と平均自立期間

平均寿命（男性 81.2 歳、女性 87.2 歳）は全国と同等だが、京都府全体より低い。平均自立期間（男性 79.6 歳、女性 84.0 歳）は男女ともに全国、京都府と同等である。平均寿命と平均自立期間の差は女性が男性よりも長い。また、全国とは同程度だが、京都府全体と比較して男性・女性ともに差は短い。







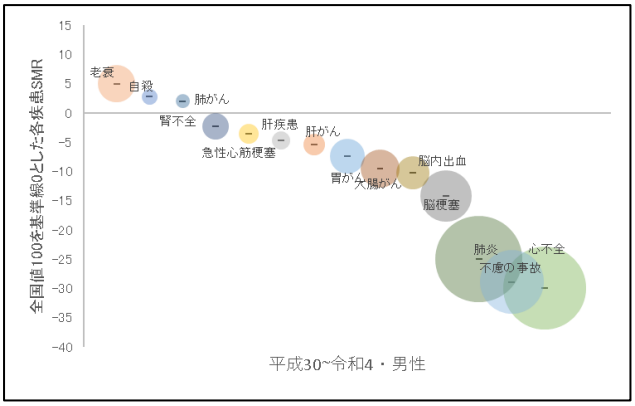
出典：平均寿命・平均自立期間：国保データベース（KDB）システムによる算出値（平成 28～令和 5 年値）

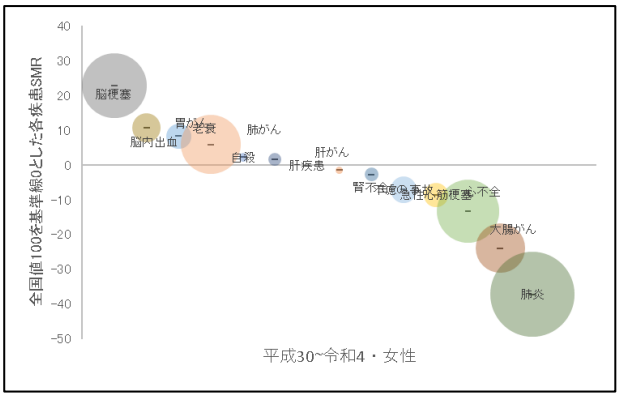
➢ SMR（標準化死亡比）

福知山市の標準化死亡比（平成 30 年から令和 4 年）のバブルチャートから、男性が「老衰」、「自殺」、「腎不全」、女性は「脳梗塞」、「脳内出血」、「胃がん」の順に高い。女性では、「老衰」、「自殺」、「肺がん」も標準化死亡比が 100 を超えている。「脳梗塞」では超過死亡の規模が大きい。

レーダーチャートをみると、男性は「急性心筋梗塞」、「肝疾患」、女性は「肺がん」、「胃がん」、「肝疾患」の標準化死亡比が増加している。「自殺」は男性・女性ともに 100 前後を推移している。

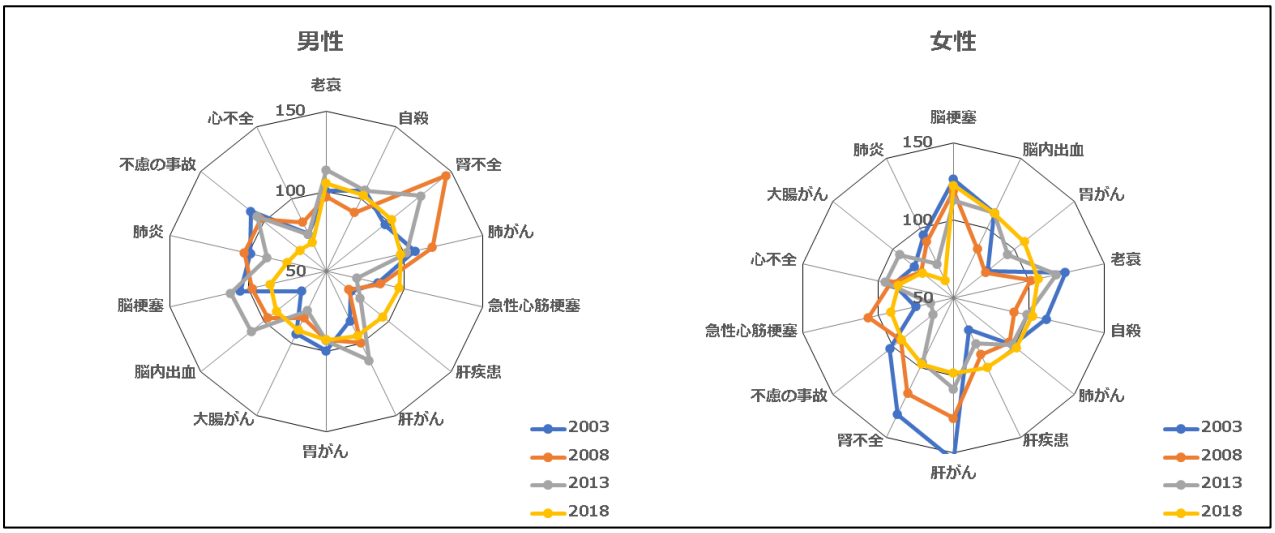
「全死因」、「心疾患」。「脳血管疾患」、「がん」の 4 項目で比較した場合、男性は「心疾患」、女性は、「心疾患」、「脳血管疾患」の標準化死亡比が高い。





出典：人口動態統計特殊報告　人口動態保健所・市区町村別統計

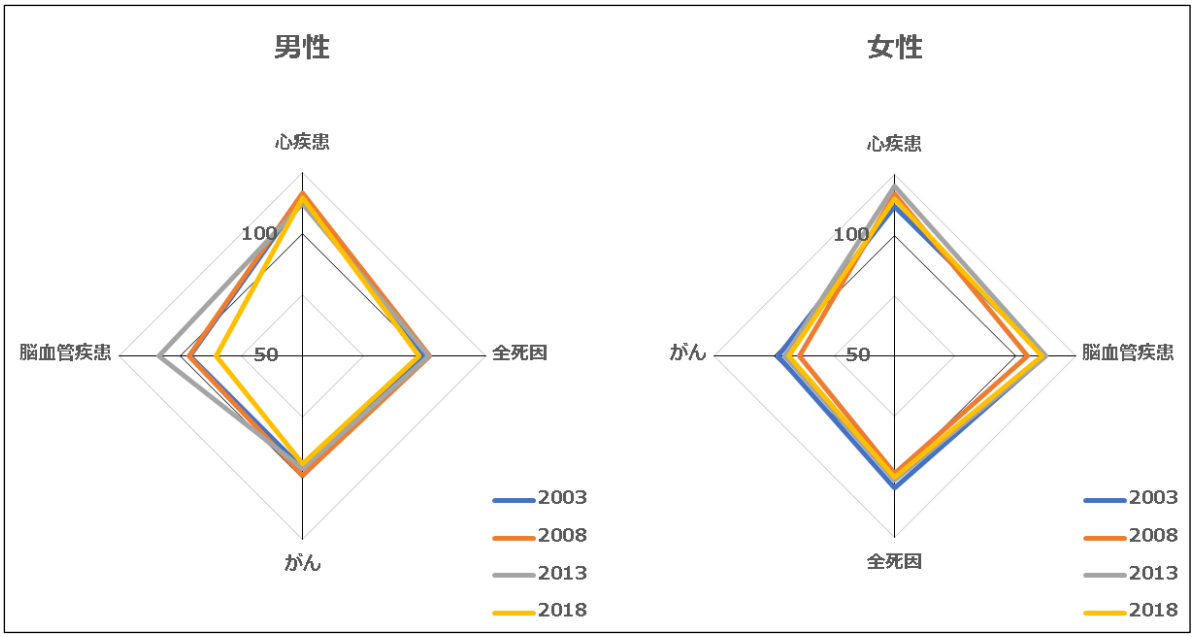
時点：平成 30 年 1 月 1 日～令和 4 年 12 月 31 日



出典：人口動態統計特殊報告　人口動態保健所・市区町村別統計

時点：平成 15～19 年、平成 20～24 年、平成 25～29 年、平成 30～令和 4 年

（2003～2007 年、2008～2012 年、2013～2017 年、2018～2022 年）



出典：人口動態統計特殊報告　人口動態保健所・市区町村別統計

時点：平成 15～19 年、平成 20～24 年、平成 25～29 年、平成 30～令和 4 年

（2003～2007 年、2008～2012 年、2013～2017 年、2018～2022 年）

2　地域の健康課題と対応策

2.1　生活習慣病対策

特定健診の結果、男性・女性ともに喫煙、運動習慣、歩行習慣がないもの割合が高く、男性は毎日飲酒の割合も高い。男性・女性ともに喫煙と体重増加の割合が増加傾向にある。リスク該当割合では、男性・女性ともに、「肥満」、「血圧」、「脂質」、「血糖」リスクが高く、男性は「メタボ」、女性は「メタボ予備軍」のリスクが高い状態にある。また、京都府民健康栄養調査では、１日あたりの野菜摂取量が少ない傾向にあり、塩分摂取量は目標以上の摂取がある。

運動習慣の定着、減塩、野菜摂取量の向上等、生活習慣病の予防行動に自然と取り組むことができる環境づくりを地域団体と共に進めていく必要がある。

【対策】福知山市：アクティブシティ推進事業、高血圧制圧のまちプロジェクト
中丹西保健所：きょうと健康長寿推進福知山地域府民会議、各種啓発、
食の健康づくり応援店、きょうと適塩プロジェクト

2.2　健診・がん検診受診対策

特定健診の結果、がん検診受診率が肺がん・大腸がん・胃がん・子宮頸がん・乳がんの５項目全てで南丹以北では最低。特定健診の標準化受療者数比は、男性・女性ともに虚血性心疾患、脳血管疾患の受療者数比が低く、標準化死亡比では男性は腎不全、女性は脳梗塞、脳内出血、胃がん、肺がんの標準化死亡比が高い。疾患の早期発見・早期治療に繋げられるよう特定健診、がん検診の受診率向上に向けた取り組みが必要と考える。

【対策】福知山市：特定健診、がん検診受診促進や啓発
中丹西保健所：健診（検診）受診キャンペーン、各種がん啓発

2.3　糖尿病重症化予防事業

特定健診の結果から、福知山市は京都府全体と比較し、「血糖」のリスクが高く、服薬の標準化該当比では「血糖降下薬」の項目が高い。透析患者数比は京都府全体と比較して高く、増加傾向にあり、京都府民健康・栄養調査の結果から福知山市の多くの方が糖尿病に関する知識が不足している状況にある。糖尿病の発症・重症化を予防するために市民へ糖尿病に関する正しい知識を発信すること、福知山市、医師会、薬剤師会、歯科医師会との連携を進め、糖尿病リスクのある方が適切な保健指導、医療や支援に繋がる体制整備が必要と考える。

【対策】福知山市：糖尿病性腎症重症化予防事業
中丹西保健所：糖尿病地域戦略会議、ＷＤＤに合わせた啓発

2.4　介護予防対策、地域包括ケアシステム

平均寿命と平均自立期間の差は男性 1.5 歳、女性 3.3 歳であり、京都府と比較して男女ともに差が短い。介護等認定率は、京都府が増加傾向にあるのに対して福知山市は横ばいに推移しているが、介護認定者のサービス利用率は京都府、全国よりも高い。少子高齢化により医療、介護職の人材確保も困難になるため、要介護状態やフレイルの予防に取り組むこと、地域包括ケアシステムの整備が必要と考える。

【対策】福知山市：保健事業と介護予防の一体化事業
中丹西保健所：中丹在宅療養推進協議会

3　実施している事業

3.1　生活習慣病対策

＜福知山市＞

○アクティブシティ推進事業

目標：アクティブ（一人ひとりが能動的・活動的）でウェルビーイング（身体的、精神的、社会的にも充実感に満ちている）なまちの実現

内容：令和 4 年度より『福知山 KENPOS』導入し事業を拡充

・毎日の歩数や市が対象とするスポーツ・健康づくり事業、健（検）診受診、血圧等の記録に際し、ポイントが付与され、電子マネーや商品に交換できるポイント事業。

・アクティブシティ推進の実現に向け、スポーツ振興、健康づくり事業等への参加、社会参画の機会への「きっかけ」づくりと、個々の健康状態にあった身体活動を継続する「楽しみ」と「しかけ」づくりとして実施。

結果：『福知山 KENPOS』登録者数 7,449 人（R8 年 1 月末現在）

ウォーキング大作戦参加者数 327 人（R7 年度）

企業事業所別対抗ウォーキングイベント　参加事業所 30 団体（R7 年度）

日本一周ウォーキング登録者 554 人（R7 年 12 月現在）

アクティブライフプラン参加者数　51 人（R7 年度）

アクティブフェスタふくちやま 2025 参加者数 1,800 人（R7 年度）

○高血圧制圧のまちプロジェクト

目標：食生活の改善、運動の習慣化についての啓発、強化を図り、生活習慣病予防の意識を高めることで高血圧疾患患者数の削減を目指す。

内容：データに基づく高血圧予防対策（健康教育の実施）

図書館展示と自動血圧計の設置

給食センターと連携して減塩給食の実施、給食献立表への塩分表示

結果：健康教育の実施

・知って防ごう！高血圧～食べて動いて健康長寿～実施　参加人数 46 人（R7 年度）

・図書館展示　血圧測定延べ 209 人、クイズ回答者 57 人（うち、クイズに正解し KENPOS 登録済の 50 人にアクティブポイント付与）（R7 年度）

イベントでの啓発

・産業フェア　野菜摂取・栄養成分表示アンケート　400 人（R7 年度）

・三和ふれあいフェスティバル　食育クイズ　163 人（R7 年度）

・夜久野ふれあいいきいきフェスタ　食育クイズ　123 人（R7 年度）

・大江酒呑童子まつり　食育クイズ　183 人（R7 年度

＜中丹西保健所＞

○きょうと健康長寿推進福知山地域府民会議

目的：福知山地域の医療・介護・ボランティア団体等と連携して、地域の特性に応じた健康づくり運動を推進

内容：関係団体へ健康づくり対策に関する情報発信。令和 7 年度は、「野菜摂取量不足」をテーマに講演とディスカッションを実施。

○生活習慣病予防の啓発

内容：定期健診診断の会場で運動に関する展示

健康情報メールの配信（令和 7 年度は 3 回配信）

イベントでの啓発：福知山産業フェア、管内の大学学園祭で運動・野菜摂取量の促進、減塩に関する体験と展示

出前講座：1 件：労働安全衛生に関わる健康講話

保健所内、管内の図書館にて受動喫煙防止・未成年者の禁煙防止に関する展示

○食の健康づくり応援店

目的：府内飲食店等において、野菜たっぷりメニューや塩分ひかえめメニューの提供、エネルギーや食物アレルギー表示を行う施設を登録し、広く府民へ普及啓発することで、府民自らの健康づくりと環境整備を推進する。

内容：登録店舗数は 7 店舗。（R7 年 12 月現在）

○きょうと適塩プロジェクト

目的：無理なく健康な行動がとれる食環境づくりをめざして、関係団体と連携した取り組みを展開する。

内容：「おいしく適塩ＴＶ」の設置（令和 3 年）

適塩化惣菜（おはぎ）の開発・販売、適塩イベントの実施（令和 4 年）

スーパーでの適塩に係る取組状況の聞き取りおよび適塩啓発に関する打合せ（令和 7 年）

3.2　健診・がん検診受診対策

＜福知山市＞

○健（検）診受診率向上及び若い世代からの健康づくり

目的：特定健診、がん検診の受診率向上に取り組むとともに、健（検）診受診をきっかけとしてより良好な生活習慣への転換につなげる。また、若い世代からの健康づくりを支援することで生活習慣病の予防に取り組み、疾病の予防に繋げる。

健（検）診受診により疾病の早期発見、早期治療につなげる。

内容：地域自治会回覧、個別通知や電話等での未受診者勧奨の実施

LINE やインスタグラムで健康づくりの情報発信、メールでの健診受診勧奨

胃内視鏡検診の導入、協会けんぽとの同日健（検）診、WEB 申込み環境の充実

健診のお知らせ（かわら版の見直し）、QR 決済・クレジットカード決済の実施
特定健診こんにちは 40 歳・50 歳事業（40 歳と 50 歳になる対象者の自己負担金無料化）
福知山市がん検診アンバサダーの就任（R7 年度）、広報ふくちやま特集記事の掲載

結果：特定健診受診率 38.4%（R6 実績）
こんにちは 40 歳受診率 22.2%　こんにちは 50 歳受診率 17.0%（R6 実績）
LINE での配信
減塩・野菜レシピ、防災啓発レシピをホームページやインスタグラムで配信
（R7 年 3 月 31 日現在：動画 60 本、44,852 回再生）

＜中丹西保健所＞

○健診（検）受診キャンペーン及び各種がんの啓発

目的：健診・検診受診率の向上

内容：管内のスーパーにて、検診受診を促すための街頭啓発
ピンクリボン月間に、保健所、管内の銀行にてポスター展示

3.3　糖尿病重症化予防事業

＜福知山市＞

○糖尿病重症化予防事業

目的：糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結び付けるとともに、生活指導を行うことで人工透析への移行を予防する。

内容（糖尿病重症化予防プログラム）

①医療機関未受診者対策

・特定健診の結果が受診勧奨判定値であるにもかかわらず高血糖に関して未受診の人に受診勧奨通知を送付。アンケート未返信者や返信内容を精査し、電話にて状況確認を実施。再度、受診を促す。

②治療中断者対策

・レセプト情報で糖尿病に関するレセプト分析により最終の受診日から 6 か月以上受診情報が途切れている人に受診勧奨通知を送付。アンケート未返信者や返信内容を精査し、電話にて状況確認を実施。再度、受診を促す。

③ハイリスク者対策

・糖尿病で医療機関受診中であるが腎症発症の可能性が高く、より厳格な保健指導が必要な人を対象に、保健師・管理栄養士が保健指導を実施。

結果：①医療機関未受診者対策　勧奨実施者数　15 人、うち受診者数　12 人（R7）
②治療中断者対策　勧奨実施者数　14 人、うち受診者数　10 人（R7）
③ハイリスク者対策　保健指導実施者数　7 人（R６）※
※ハイリスク者対策の保健指導は、年度をまたぐため R6 の数値で報告。

＜中丹西保健所＞

○糖尿病重症化予防事業・未病改善センターブロック協議会、京都府糖尿病重症化予防地域戦略会議

目的：福知山市の未受診者対策、治療中断者対策、ハイリスク者対策を推進するため、行政・保険者・医療関係団体等で協議し、福知山地域における保健指導体制等の構築を図る。

○糖尿病重症化予防に関する研修会、連携会議の開催

・福知山医師会との連携

目的：福知山の糖尿病性腎障重症化予防事業を推進するために医師会と連携した協議会の開催

内容：福知山市の実績報告、糖尿病専門医によるミニレクチャー、行政、医療機関の意見交換

・糖尿病事業従事者研修会

目的：糖尿病事業従事者の連携促進と保健指導のスキルアップ

内容：北部地域の自治体を対象に糖尿病の基礎と保健指導の講演と事例検討

○World Diabetes Day（世界糖尿病デイ）の啓発

内容：管内の図書館にて、糖尿病の症状、合併症、予防方法について展示

保健所内・管内の銀行にて World Diabetes Day のポスター・チラシの展示

3.4　介護予防対策、地域包括ケアシステム

＜福知山市＞

○高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業率向上

目的：高齢者に対して個別支援の強化と通いの場等への積極的な関与を行い、住み慣れた地域で自立した生活ができる期間の延伸、QOL の維持向上を目的として実施

内容：ハイリスク者への個別支援（低栄養予防、糖尿病重症化予防、高血圧予防）

健康状態不明者の状況把握及び支援

通いの場等でのポピュレーションアプローチ（フレイル予防啓発、健診受診勧奨など）

結果：ハイリスクアプローチ

・低栄養予防　R6：支援実施者数 24 人（実施率 100%）

・高血圧予防　R6：支援実施者数 42 人（実施率 97.7%）

・健康状態不明者への支援

R6 対象者：R5 健診・医療未受診者で健康状態未把握かつ介護保険未利用者

R6 結果　：102 人にアンケートを送付し 40 人から回収。未返送者と昨年度も対象であった者併せて 77 人に訪問し、48 人と面接。（把握率 62.3%）

・口腔機能低下予防

R6 対象者：R5 健診受診者で高齢者の質問票の口腔機能ハイリスク者かつ 85 歳以下の歯科未受診者

R6 結果　：164 人にアンケートを送付し、56 人から回収。未回収者 108 人に訪問し、81 人と面接（把握率：75%）

ポピュレーションアプローチ

・通いの場等でのポピュレーションアプローチ　R6：51 回　参加者 940 人

体力測定の結果説明と併せてフレイル予防の講話をする等、より効果的な支援となる

よう内容を工夫。

○福知山市体操「貯筋体操」の普及促進

内容：市オリジナル体操である貯筋体操を「集約型事業」と「出向き型事業」で実施。

結果：①「集約型事業」：会場の定期的な変更等により、令和 6 年度の実人数・延人数ともに過去最高の人数となった。また、Zoom を活用したオンライン配信を行っているが、徐々に利用者が増えている。『福知山 KENPOS』を活用したインセンティブ付与も継続して行っている。

②「出向き型事業」：令和 6 年度は 30 団体の利用があり、モデル団体（3 か月間で 10 回程度体操を実施することで、その間の講師派遣料を無料とする取組み）の利用も増えている。また、市が養成した体操指導者を出向き型事業の講師として地域に派遣しており、活躍の場が広がっている。

＜中丹西保健所＞

○中丹在宅療養推進協議会

目的：府民の目指す姿を実現するため、2040 年に向けた地域課題を共有し、多職種で各々の活動を含め今後地域で取組む方向性について協議する。

内容：福知山市の地域課題に係るオープンデータ及び福知山市の在宅医療・介護連携に係る課題の共有・意見交換を実施。2040 年を見据えた地域包括ケアのあり方と今後に向けた福知山市在宅医療介護連携に係るロジックモデルを作成。

４地域の現状と健康課題まとめ

